

地質情報展 にいがた「のぞいてみよう大地の不思議」

地質情報展事務局¹⁾

地質情報展も今回で6回を数えました。今年度(2002年)は、9月14日(土)～16日(月、代休)の3日間、新潟市の市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)において開催し、900名をこえる市民の方々が会場を訪れました。この催しは、産総研 地質調査総合センターと日本地質学会との共催で企画され、地質調査総合センターの各研究ユニット及び関連部署から、新潟地域の地質図及び地球化学図、活断層、地震、地熱利用、燃料資源と鉱物資源、海洋調査、火山、重力等に関する研究成果の展示のほか、アンモナイト化石のレプリカ作りや鳴り砂、水を調べる体験コーナー等がブース展開されました。各展示及び体験コーナーには産総研の職員が説明に立ち、解説を行いました。また、地元新潟からも、教師グループの方々が新潟産の化石の展示を行い、新潟の地質の説明や化石の鑑定も含め、スタッフとしても参加していただきました。

会場は、事前の宣伝ポスターを見て化石レプリ



写真1 会場の入口には新潟県の立体地形図を置いた。参加者は立体に見える地形の迫りに声を上げていた。

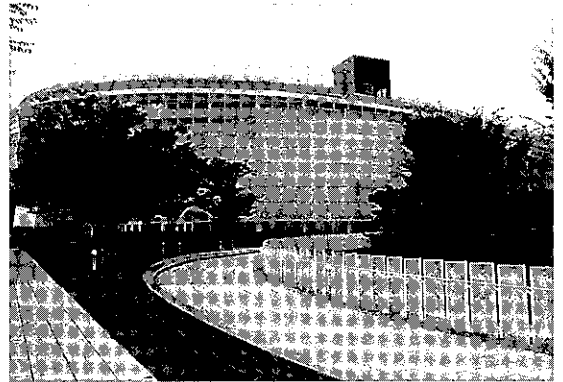


写真2 地質情報展にいがたの会場になった新潟市の市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)。

カ作りを目的に訪れた親子連れや鑑定を求めて化石や岩石を持ち込む人、学校の先生に引率された中学生のグループ等さまざまな来場者で賑わいをみせました。来場者へのアンケートには、このような催しを毎年行ってほしい、説明がいてねいで良かった等の意見が多数寄せられています。また、会期終了後、記入したアンケート用紙をつくばの事務局まで郵送して下さい方、来場された生徒さんの感想文を送って下さる先生もいて、反響の余韻に驚かされました。

6回の地質情報展を実施してみて、情報展のねらい、目的がだいたい固まってきたように思えます。それは、その地域の地質情報をその地域の一般市民の皆さんに知っていただくということと、体験学習イベントで子供たちに地学に親しんでもらうということです。

当初、地質学会年会の会期・開催地域に合わせて開催したのは、学会に出席する会員の方々のご参加も念頭においていましたが、今回のように地質

1) 産総研 地質調査情報部 湯浅真人、酒井 彰、河村幸男、吉田朋弘、川畑 晶、中島和敏、地質標本館 谷田部信郎

キーワード:新潟、地質情報展、日本地質学会、普及活動



写真3 化石レプリカ作りのコーナーにおいて親子で取り組む参加者。

学会の会場である大学が町から離れたところに位置する場合、多数の市民の方の参加を得ようとすると大学の近辺で会場を探すよりも街中の比較的交通の便利なところの方を選ぶことになります。そうなりますと、今度は地質学会に参加された方にとっては、地質情報展の会場へのアクセスが難しくなってきます。ジレンマではありましたが、今回は新潟近辺の一般市民の方々への新潟周辺の地質情

報の普及を第1に考えました。さらに、情報展来場者の年齢、階層分布を見ますと、高校生が圧倒的に少なく、近年の大学入試科目の傾向に関係した地学離れに起因する今後の後継者難の気配を感じていましたので、そこへのテコ入れ、即ち後継者作りの一環として、小学生をターゲットとした触れる地学の普及を重要な柱としました。アンケート結果に基づき参加者の階層別の分布を見ますと、私たちの狙いはだいたい当たっていた様に思えますが、逆にいえば情報展参加者の傾向に合わせて私たちが内容を用意しているということでもあります。

最後になりましたが、地質情報展の会場探しから、県や教育委員会、マスコミ等への説明、地元への宣伝等にご尽力いただきました。新潟大学立石雅昭先生をはじめとするスタッフの皆様、ご後援をいただきました各機関(新潟大学、新潟県、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、(社)新潟地質調査業協会)、並びに出展及び解説にご協力いただきました地元新潟の小林 巖先生、堀川秀夫先生に感謝いたします。

Working group of Geoscience Exhibition in Niigata
(2003) : Geoscience Exhibition in Niigata.

<受付：2003年1月7日>

地質情報展 しずおか

—プレートの出会う場所で—

2003年の地質情報展は静岡です。9月19日から21日までの3日間、静岡市にあるコンベンションセンター「グランシップ」6階の展示ギャラリーをお借りして、昨年以上の規模の開催を予定しています。日本列島の地質に大きな影響を及ぼすプレート、これらの境目にもほど近いこの場所で、一般の方々に分かりやすく、様々な角度から見た地質を紹介いたします。例年同様、化石レプリカ作りをはじめとした、お子さんにも十分に楽しめるような体験コーナーも多数用意する予定です。詳細は順次、地質調査総合センターのHP(イベントカレンダーからお入りください)でお知らせいたします。どうぞお楽しみに!